

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	大腸内視鏡検査における BMI に基づいた最適なスコープ選択基準の検討：後方視的解析
研究責任者氏名	中野 智彦
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	研究実施許可日 ～2028 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	兵庫医科大学病院内視鏡センターで大腸内視鏡検査を受けられた方
	受診日：西暦 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☐ その他（ ）
	取得の方法： ☒ 診療の過程で取得 ☒ その他（内視鏡システム）
研究目的・意義	大腸内視鏡検査において、盲腸までの挿入時間は検査の質や患者さんの苦痛に直結する重要な指標です。しかし、挿入の難易度を左右する患者さん側の因子、特に「体格（BMI）」と、それに対する「最適な内視鏡の太さの選択」に関する客観的な指標は未だ確立されていません。 本研究では、当院の過去の検査データを用い、BMI・スコープの太さ・挿入にかかった時間の相互関係を統計学的に明らかにします。これにより、現在は医師の経験や主観に依存している機材の選択に対し、科学的根拠（エビデンス）に基づいた客観的基準を確立することを目指します。 本研究の成果は、事前のスクリーニングによる挿入が難しい症例の予測を可能にし、患者さん一人ひとりに最適な機材を最初から選択するという「個別化医療」の推進に寄与します。これは、患者さんの身体的苦痛の軽減のみならず、検査時間の短縮による医療効率の向上、および適切な機材準備による医療安全の確保に役立つものであり、臨床現場において極めて高い実用性と意義を有しています。

研究の方法	2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに兵庫医科大学病院内視鏡センターで大腸内視鏡検査を受けた患者さんの下記の情報を、電子カルテ及び内視鏡システムより抽出します。施行医については医局に登録された専門医資格の有無、経験年数についての情報を使用します。 • 収集項目： BMI（身長・体重）、年齢、性別、既往歴、使用薬剤、使用スコープ、施行医、盲腸到達時間、最高到達部位 • 解析方法： 収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計解析ソフトを用いて BMI が挿入時間に与える影響などを解析します。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。 国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：臨床工学部 担当者氏名：中野智彦 [電話] （平日 9 ～17 時） 0798－45－5292 （上記時間以外） 0798－45－6111